

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	切除不能再発肝細胞癌における PD-L1 発現状況が化学療法に及ぼす影響に関する研究
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	徳田 智史
研究期間	所属機関長許可日(2022年9月) ～ 2025年6月
対象者	2020年9月より2022年4月までの2年間に当院で切除不能再発肝細胞癌に対してアテゾリズマブ(ATZ)+ベバシズマブ(BV)療法を施行した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	ATZはPD-L1という細胞表面のたんぱく質と結合し、その働きを抑える抗体薬(免疫チェックポイント阻害薬)です。他のがん種ではPD-L1ががん細胞にたくさん認められる患者さんで有効性が高いことが報告されています。一方、切除不能再発肝細胞癌に対しては現時点ではPD-L1の発現状況に関わらず使用可能です。今回の研究の目的は、切除不能再発肝細胞癌に対してATZ/BV療法を施行した方の病理検体からPD-L1発現状況を確認し、その発現状況と有効性の関係を調べることです。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子(年齢、性別など)</li><li>・臨床データ(画像検査結果、病理検査結果、手術内容、採血データなど)</li><li>・転帰(増悪の有無、抗がん剤の副作用など)</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器外科 徳田 智史 代表 054-247-6111